

ふじのくに外科専門研修ネットワークプログラム (静岡県立総合病院)

1 はじめに

われわれ外科医は、多くの症例を経験することで自らの手術手技と医療者としての人格を磨きます。その中で時間のかかる手術手技の習得に焦りを感じることも、無力感に襲われることもあることでしょう。しかし、若い外科医からベテランの外科医まで、外科医には経験によって培われた様々な段階の技術や人格に応じて必ず救える患者が、目の前に存在します。研修の途中でも必ず感謝してくれる患者がいます。外科医も決して捨てたものではありません。



我々の“ふじのくに外科専門研修プログラム”は精力的に外科手術を行っている施設が力を合わせて外科専門医を養成しようとするプログラムで、外科医に与えられたこうした醍醐味を一人でも多くの外科医志望者に味わっていただけるよう、そして専門医の資格を取得できるよう、すべての施設の外科医が全力で協力します。

参加しているどの施設にも複数の領域の指導医が皆さんをお待ちしています。

温暖な気候と穏やかな人柄の患者さんたちに囲まれて手術三昧の3年間をわれわれと一緒に過ごしましょう。ともに“誇りと憧れの外科医”を目指しましょう。

プログラム統括責任者 静岡県立総合病院 副院長 高木 正和

2 目的

外科医を志望する後期研修医が、静岡県中部の病院を3年間ローテートし、「外科専門医」試験に合格することを主目的としています。

医の倫理を体得し、医療を適正に実践すべく一定の修練を経て、診断、手術および術前後の管理・処置・ケアなど、一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡県立総合病院

消化器外科 乳腺外科 心臓血管外科 呼吸器外科

(2) 専門研修連携施設

連携施設群 静岡市立静岡病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院

静岡市立清水病院、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院

市立島田市民病院、伊豆今井浜病院

浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立こども病院

4 専攻医受入数

募集人数：7名／年間

5 研修期間

どのコースにおいても、3年の研修のうち、専門研修基幹施設で最低6か月以上の研修、専門研修連携施設で最低6か月以上の研修を必須とします。

① 一般コース

専門研修1年目と2年目は連携施設群あるいは基幹施設から各1施設以上で研修を行います。専門研修3年目は静岡県立総合病院消化器外科で6か月の研修と静岡県立こども病院小児外科、静岡県立総合病院心臓血管外科、同呼吸器外科の3科を各2か月間ずつローテーションします。希望により乳腺外科の研修も可能です。

② サブスペシャリティ領域志向コース

専門研修1年目と2年目は連携施設群あるいは基幹施設から各1施設以上で研修を行います。この2年間で外科専門研修プログラムが確実に達成できる見込みがつけば最長1年間サブ領域を重点的に研修します。専門研修3年目は静岡県立総合病院の6か月間の研修を含め、当病院群内のいずれの施設でもサブスペシャリティ研修が可能です。

③ 大学院進学コースまたは留学コース

専門研修1年目と専門研修2年目は①一般コースと同じです。ただしこの2年間に静岡県立総合病院での6か月の研修を含みます。この2年間で外科専門研修プログラムが確実に達成できる見込みがつけば6か月以上1年を超えない期間で浜松医科大学などの大学院での研究専任、あるいは留学が可能です。

6 研修計画（例）

① 一般コース

1年	静岡県立総合病院・連携施設
2年	
3年	

② サブスペシャリティ領域志向コース

1年	静岡県立総合病院（消化器外科）・連携施設
2年	静岡県立総合病院・連携施設
3年	静岡県立総合病院・連携病院（希望するサブスペシャリティ領域）

③ 大学院進学コースまたは留学コース

1年	静岡県立総合病院 ・ 連携施設
2年	静岡県立総合病院 ・ 連携施設
3年	大学院・留学

7 問い合わせ先

静岡県立総合病院 副院長 消化器センター長 高木 正和

事務局 総務課人材係 大下 将

静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

TEL 054-247-6111（代） E-mail sougou-soumu@shizuoka-pho.jp